

第5学年 算数科 学習構想案

日時 令和5年 11月 1日 (水) 第5校時
 場所 都呂々小多目的ホール
 指導者 5・6年担任
 特別支援教育支援員

I 単元構想

単元名	面積 (啓林館 5年 P128~149)		
単元の目標	(1)底辺と高さの意味を理解し、公式を用いるなどして三角形や四角形の面積を求めることができる。 【知識及び技能】 B(3)ア(ア) (2)既習の面積公式をもとに、三角形や平行四辺形などの面積を工夫して求めたり、公式をつくったりすることができる。【思考力、判断力、表現力等】 B(3)イ(ア) (3)既習の面積公式をもとに、三角形や平行四辺形などの面積の求め方や公式を進んで見いだそうとしている。【学びに向かう力、人間性等】		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① 長方形や正方形に帰着させて、直角三角形の面積を求めることができる。 ② 公式を使って、様々な多角形の面積を求めることができる。 ③ 高さが図形の外にある場合も面積公式が使えることを理解している。 ④ 底辺も高さも等しい平行四辺形は面積が等しくなることを理解している。 ⑤ 底辺に対して平行に頂点を動かしても、三角形の面積は変わらないことに気づいている。 ⑥ 三角形の面積は高さや底辺に比例することを理解している。	① 面積が求められる図形に帰着させて、様々な多角形の求め方を考えたり説明したりしている。 ② 面積の求められる図形に帰着させて、高さが外にある場合の面積の求め方を考えたり説明したりしている。 ③ 多角形を三角形に分割すればその面積が求められることに気づいている。 ④ 高さや面積の関係を関数的にとらえている。 ⑤ 筋道を立てて面積方法を考え、面積を求めることができる。	① 四角形や三角形の図を見て、面積の求め方を考えようとしている。 ② 三角形の面積の求め方をもとに面積に必要な事柄に気づき、公式をつくろうとしている。 ③ 平行四辺形の面積の求め方をもとに面積に必要な事柄に気づき、公式をつくろうとしている。
単元終了時の児童の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)			
様々な多角形の面積の求め方についての学習を通して、既習と関連づけて問題解決を進めていく感覚を豊かにして、身のまわりの事柄などを調べるときにいかそうとする児童			
単元を通した学習課題 (単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
既習事項をもとにしながら、様々な多角形の面積を求めよう。		「底辺」と「高さ」を正しく捉えながら、公式の導出を図の見方、式の見方の両方から既習事項をもとに深めることができるための感覚を高める。	
指導計画と評価計画 (13時間取扱い 本時10/13)			
過程	時間	学習活動 (「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	3	○既習の面積のふり返りと学習の動機づけ	【態度①】(観察・発言)・【知識・技能①】(観察・ノート)
		○直角三角形の面積の仕方	【思判表①】(発言・ノート)
		○鋭角三角形の面積の仕方	【知識・技能②】(ノート)・【態度②】(観察・発言)
		○三角形の面積公式の導出と適用<底辺、高さ>	【思判表①】(発言・ノート)
二	3	○平行四辺形の面積の仕方	【知識・技能②】(ノート) ★【態度③】(観察・発言)
		○平行四辺形の面積公式の導出と適用	○平行四辺形の面積の求め方をもとに面積に必要な事柄に気づき、公式をつくろうとしている。
		○高さが外にある三角形や平行四辺形の面積	【知識・技能③】(観察・ノート)・【思判表②】(発言・ノート)
三	2	○台形の面積の仕方	【思判表①】(発言・ノート)・【知識・技能②】(ノート)
		○ひし形の面積の仕方	【知識・技能②】(ノート)
四	1	○練習	【知識・技能②】(ノート)
四	2	○三角形分割による多角形の面積 (本時)	★【思判表③】(発言・ノート) ○多角形を三角形に分割すればその面積が求められることに気づいている。
		○平行線にはさまれた平行四辺形や三角形の面積	【知識・技能④】(発言・観察)・【知識・技能⑤】(発言・ノート)
五	1	○三角形の高さと面積(底辺と面積)の比例関係	【思判表④】(観察・ノート)・【知識⑥】(発言・ノート)
学びのまとめ	1	○学習内容の理解を確認する。	★【知識・技能②】(ノート)・【思判表⑤】(観察・ノート) ○公式を使って、様々な多角形の面積を求めることができる。

2 校内研究に関連して

<<視点1>>【何を身に付けるのかを明確にした授業づくり】 ○オリエンテーションの充実(めあて・ゴールの確認) ○1単位時間の学習課題(めあて)の明確化とふり返りの充実(何を学んだのか)	<<視点2>>【自分の考えを持てるように個に合わせた手立て、交流する場に関する取組】 ○自分の考えを持てるようにするためのICT活用 ○学びを共有するための話し合いの場の設定 ○主体的に課題解決をするためにグループを形成して学習に取り組む
---	--

第6学年 算数科 学習構想案

日時 令和5年 11月 1日 (水) 第5校時
 場所 都呂々小多目的ホール
 指導者 5・6年担任
 特別支援教育支援員

1 単元構想

単元名	図形の拡大と縮小 (啓林館 6年 P128~143)		
単元の目標	(1)図形の拡大や縮小の意味を理解し、頂点、辺、角の対応をみつけて拡大図や縮図を作図することができる。[知識及び技能] B(1)ア(ア) (イ) (2)拡大や縮小の観点から既習の基本図形の性質を考えたり、拡大図や縮図の作図を通して形や大きさの決まり方を考えたりすることができる。[思考力、判断力、表現力等] B(1)イ(ア) (3)身のまわりや既習の図形の見方に関心をもち、進んで拡大図や縮図の性質調べや作図などに取り組もうとしている。[学びに向かう力、人間性等]		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	⑦ 拡大、縮小することの意味を理解している。 ⑧ 対応する頂点、辺、角をみつけ、大きさを調べることができる。 ⑨ 方眼の大きさを利用して、拡大図や縮図をかくことができる。 ⑩ 三角形の拡大図、縮図をかくことができる。 ⑪ 四角形の拡大図、縮図をかくことができる。 ⑫ 1つの点を中心にして、拡大図、縮図をかくことができる。 ⑬ 縮図を利用した2点間の距離の求め方を理解している。	⑥ 対応する辺の長さや角の大きさの関係に着目し、2つの三角形の形が同じかどうかを考えたり説明したりしている。 ⑦ 合同な三角形のかき方をもとに、三角形の拡大図、縮図のかき方を考えたり説明したりしている。 ⑧ 三角形の拡大図や縮図のかき方をもとに、四角形の拡大図、縮図のかき方を考えたり説明したりしている。 ⑨ 1つの点を中心にたかき方は、角の大きさが等しいことを利用していることに気づいている。	① 形が同じかどうかに着目して、形を比べる活動に取り組もうとしている。 ② 方眼を利用して拡大図や縮図を書くことに進んで取り組もうとしている。 ③ 既習の図形に関心をもち、進んで形が同じかどうかを調べようとしている。
単元終了時の児童の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)			
図形の拡大・縮小について、図形を観察する活動を通して拡大・縮小の意味を理解し、拡大図・縮図の性質や作図の仕方を考えたり、縮図を用いて距離を調べたりすることをお通して、平面図形の理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする児童			
単元を通した学習課題 (単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
拡大・縮小の意味を理解して、拡大図・縮図を利用しよう。		対応する角の大きさや辺の比に着目しながら、図形の関係を調べることができるための感覚を高める。	
指導計画と評価計画 (10時間取扱い 本時9/10)			
過程	時間	学習活動 (「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	2	○図形の拡大、縮小の意味	【態度①】(観察)・【知識・技能①】(発言・観察)
		○拡大図、縮図の意味とその性質	【思判表①】(発言・ノート)・【知識・技能②】(ノート)
二	5	○方眼紙を使った拡大図、縮図のかき方	【態度②】(観察)・【知識・技能③】(ノート・観察)
		○三角形の拡大図、縮図の作図	【思判表②】(発言・ノート)・【知識・技能④】(ノート)
		○四角形の拡大図、縮図の作図	【思判表③】(発言・ノート)・【知識・技能⑤】(ノート)
		○1つの点を中心にした拡大図、縮図のかき方	★【思判表④】(発言・ノート) ○1つの点を中心にたかき方は、角の大きさが等しいことを利用していることに気づいている。 【知識・技能⑥】(ノート)
		○基本図形における拡大、縮小の関係の考察	★【態度③】(観察・発言) ○既習の図形に関心をもち、進んで形が同じかどうかを調べようとしている。
練習	1	○練習	【知識・技能①②④⑤⑥】(ノート)
三	1	○縮図を利用した測定 (本時)	★【知識・技能⑦】(観察・ノート) ○縮図を利用した2点間の距離の求め方を理解している。
学びのまとめ	1	○基本のたしかめ、ふりかえり、やってみよう	【知識・技能②④⑦】(ノート)

2 校内研究に関連して

≪視点1≫ 【何を身に付けるのかを明確にした授業づくり】 ○オリエンテーションの充実(めあて・ゴールの確認) ○1単位時間の学習課題(めあて)の明確化とふり返りの充実(何を学んだのか)	≪視点2≫ 【自分の考えを持てるように個に合わせた手立て、交流する場に関する取組】 ○自分の考えを持てるようにするためのICT活用 ○学びを共有するための話し合いの場の設定 ○主体的に課題解決をするためにグループを形成して学習に取り組む
--	---